

施策番号	0101		
施策名	自然環境とくらしを気遣う環境の保全		
概要	優れた自然環境を後世に伝えていくため、自動車の排ガス対策等、生活環境保全に向けた取組、環境問題に対する市民の理解と行動を広げる環境学習を推進する。		
担当局・部室	環境政策局・環境企画部、地球温暖化対策室	共管局・部室	
上位政策	1 環境		
施策に係る主な分野別計画等	京（みやこ）の環境共生推進計画, 京都市自動車環境対策計画(2011～2020), 京都市地球温暖化対策計画〈2011-2020〉, 京都市環境モデル都市行動計画		

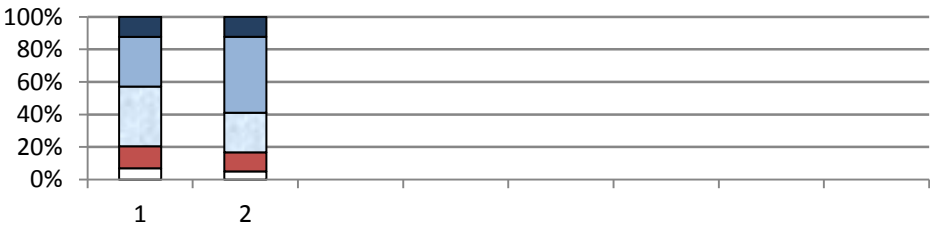
施策の評価

1 客観指標評価

指標名		23年度	24年度	25年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト
1	エコカーの普及台数(台)	a	a	13,388	19,102	12,000	159.2%	a	1.00
2	全京都市立小学校における, こどもエコライフチャレンジ実施率(%)	a	a	100	100	100	100.0%	a	1.00
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		25年度回答					有効回答者数	評価
		そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない		
1	京都の子どもたちは、山紫水明の自然環境をかけがえないものと実感している。	60	149	179	66	34	488	c
		12.3%	30.5%	36.7%	13.5%	7.0%		
2	「きれいな空気、清らかな川、静かなまち」など、よい環境が保たれている。	68	259	135	65	28	555	b
		12.3%	46.7%	24.3%	11.7%	5.0%		
3	-							-
4	-							-
5	-							-
		市民生活実感調査総合評価						b



- そう思う
- どちらかと言うとそう思う
- どちらとも言えない
- どちらかと言うとそう思わない
- そう思わない

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

A	施策の目的が十分に達成されている					
	重み付け	☒ 客観指標	a	☐ 市民の実感	b	
(重み付けの理由) 環境の保全のためには、自動車の排ガス対策としてエコカーを選択する市民や事業者が増えることが重要である。また環境学習は、環境に優しい行動が根付くことを目的とした長期的な取組であり、その成果はすぐには市民に実感されにくいことから客観指標に重みを置く。						24年度 A
(原因分析) ・エコカーの普及台数は、エコカー利活用の促進、国によるエコカー減税やエコカー補助金の実施もあり、目標値を大きく上回った。 ・こどもエコライフチャレンジは、環境モデル都市行動計画に基づき、京都市立小学校全校で実施したため、目標値を達成した。						23年度 A

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		25年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		24年度 決算額	25年度 予算額		
1	(財)京都市環境事業協会運営	42,662	38,548	—	環境政策局
2	「世界一美しいまち・京都」の推進	31,476	31,455	良い	環境政策局
3	KYOTO地球環境の殿堂	12,179	10,179	かなり良い	環境政策局
4	こどもエコライフチャレンジ推進事業	30,131	30,617	良い	環境政策局
5	環境保全資金融資制度	7,030	42,727	かなり悪い	環境政策局
6	次世代自動車普及促進	32,979	28,521	良い	環境政策局
7	身近な自然度調査	4,120	5,987	普通	環境政策局
8	京都市低公害車普及促進事業	1,666	2,346	普通	環境政策局
9	ダイオキシン類対策	30,404	32,195	良い	環境政策局
10	大気汚染対策	210,857	190,938	悪い	環境政策局
11	水質汚濁対策	107,110	118,730	普通	環境政策局
12	騒音・振動対策	62,324	64,647	良い	環境政策局
13	公害苦情処理及び公害防止事前相談	110,622	115,302	良い	環境政策局
14	環境施設見学会「ごみ減量エコバスツアー」	9,049	11,483	良い	環境政策局
15	京都市環境保全活動センター〔京エコロジーセンター〕	152,814	150,517	—	環境政策局
16	公衆トイレ整備	19,107	28,056	—	環境政策局
17	生物多様性地域戦略策定	16,514	30,322	—	環境政策局
18	大岩街道周辺地域の良好な環境づくりの推進	11,744	9,359	—	総合企画局
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・今後も市民や事業者の皆様に、カーシェアリングや公共交通機関の利用拡大など普及啓発を行うとともに、電気自動車等の導入や充電設備の設置促進などにより、電気自動車や低公害・低燃費等エコカーへの転換を図っていく。

・環境学習については、プログラムの見直しやフォローアッププログラムの試験的導入等により、さらに充実した取組を続けていくことで環境に優しい行動が根付くように努める。

・以上のことにより、自然環境及び生活環境の保全に努めることで市民生活実感評価の向上を図る。

施策名	0101	自然環境とくらしを気遣う環境の保全				
-----	------	-------------------	--	--	--	--

指標名	エコカーの普及台数(台)					
-----	--------------	--	--	--	--	--

担当課	環境管理課		連絡先	2 1 3 - 0 9 3 0		
-----	-------	--	-----	-----------------	--	--

1 指標の説明

EV（電気自動車）、PHV（プラグインハイブリッド自動車）、HV（ハイブリッド自動車）及びCNG（圧縮天然ガス自動車）等の京都市内での普及台数

2 指標の意味

環境の保全のためにエコカーの選択、普及状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：各種エコカーの台数を加算
出典：軽乗用は(社)全国軽自動車協会連合会及び本市納税推進課、それ以外は(財)自動車検査登録情報協会の情報による

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	22年度	23年度		数値	根拠	達成度
数値	13,388	19,102	5,714 台増	12,000	平成32年度の数値目標達成のために当年度達成すべき数値	159.2%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値		12万	32年度	27.1%	京都市自動車環境対策計画<2011～2020>	算定に用いるデータの収集時期の関係から、平成23年度値が最新となる。

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：80%以上
b：60%以上～80%未満
c：40%以上～60%未満
d：20%以上～40%未満
e：20%未満

6 基準説明

当該指標については、社会・経済情勢などの影響により、EV・PHVの生産量等が不安定となる場合があり、不確定要素が比較的多いことから、80%以上をa、以下20%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

23	24	25
a	a	a

1 指標の説明

次世代を担う子ども達が地球温暖化問題について自ら考え、体験し、家族と共に「子ども版環境家計簿」に取り組む「こどもエコライフチャレンジ」実施校数の全市立小学校数に対する割合

2 指標の意味

自然を気遣う社会の実現に向けた実践的な環境学習の推進状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：「こどもエコライフチャレンジ」実施校数 ÷ 全市立小学校数 × 100
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	23年度	24年度		数値	根拠	達成度
数値	100	100	増減なし	100	全市立小学校での実施を継続する	100.0%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値		100	32年度	100%	全市立小学校での実施を目標とする。	

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：95%以上
b：75%以上～95%未満
c：55%以上～75%未満
d：35%以上～55%未満
e：35%未満

6 基準説明

若い世代に対する環境教育の充実は、未来の環境保全に大きく寄与する。また、本事業は全市立小学校で実施するが、統廃合などで事業が見送られた場合を考慮し、95%以上をa、以下を20%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

23	24	25
a	a	a